

6 地域包括ケアの推進

(1) 地域包括ケアの推進 (3-1-1-20 地域包括ケア推進事業令和4年度予算額 11,031千円)

(3-1-1-70 地域医療推進事業 令和4年度予算額 11,183千円)

① 重層的支援体制整備事業への移行準備事業

社会福祉法の改正により重層的支援体制整備事業が創設され、対象者の属性を問わない相談支援などによる複合・複雑化した支援ニーズを抱える地域住民や家族に対し包括的な支援を行うことができることとなりました。鶴岡市では日常生活圏域単位による個人や家族の困りごとに対する包括的支援の体制を整備するため、令和4年度から準備事業を開始します。

② 地域福祉リーダー養成研修事業

住民主体の福祉コミュニティづくりを推進するため、地域課題に取り組んでいくために必要な知識や技術を学び、新たな地域福祉リーダーを養成します。

【新型コロナの影響により、令和3年度は中止】

《令和2年度実績》

日 時 令和3年1月29日(金)

会 場 鶴岡市中央公民館 大視聴覚室

参加者 学区・地区社会福祉協議会役員・コーディネーター、鶴岡市社会福祉協議会職員
講演・グループワーク 「地域支え合いプランの活用について」

講師・ファシリテーター 東北公益文科大学 教授 武田 真理子 氏

③ 社会福祉基金運用益金活用助成

地域福祉活動の推進を図るため、社会福祉に関する事業を行う団体又は個人に対して助成します。

対象者：小学校区ごとに設置された社会福祉を目的とする協議会、住民自治組織等

対象額：定められた対象経費の合計額の4分の3以内の額

	元年度	2年度	3年度
件数	1	2	0

④ 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

市民が地域医療の現状を知り、関心を持ってもらうとともに、地域医療について「ともに考え」、「ともに作り上げ」、地域全体で心の通い合う地域医療を実現するため、令和元年12月に「鶴岡市地域医療を考える市民委員会」を設置しました。

このたび、市民委員会において、10年後の鶴岡市の地域医療の未来像の実現に向け、市民一人ひとりの基本的な活動・実践の指針として「3つの市民アクション」を掲げた鶴岡市地域医療市民アクションプランを策定しました。

市民アクションプランのもと、市民自身が自分の健康を守り、また地域医療を守り、そして医療従事者と、こころ通い合う地域医療が実現できるよう、その取組を推進します。

《令和3年度実績》

実施状況		出席者数
第1回	日時：令和3年6月9日（水）13：00～15：00 内容：鶴岡市地域医療市民プレアンケートの実施について	市民委員：10名 コーディネーター：1名 （オンライン参加） オブザーバー：3名 傍聴者：3名
第2回	日時：令和3年9月13日（月）13：30～15：30 内容：鶴岡市の地域医療に関するアンケートについて 市民勉強会の仕組みづくりについて	市民委員：9名 コーディネーター：1名 （オンライン参加） オブザーバー：3名 傍聴者：4名
第3回	日時：令和3年12月10日（金）13：30～15：30 内容：鶴岡市地域医療市民アクションプラン体系（案）について ・10年後（2031年）の鶴岡市の“地域医療の未来像”について ・10年後の鶴岡市の地域医療の未来像に向けた「3つの市民アクション」について ・「地域医療を学び考えアクションを起こすための市民勉強会」のコンセプト（基本方針）について	市民委員：9名 コーディネーター：1名 オブザーバー：4名 傍聴者：4名
第4回	日時：令和4年3月14日（月）13：30～15：30 内容：鶴岡市地域医療市民アクションプラン（案）について	市民委員：9名 コーディネーター：1名 （オンライン参加） オブザーバー：3名 傍聴者：4名

⑤ ストレッチャー対応タクシー車両維持経費等補助

座位の保持が困難なため、ストレッチャーによる移送を必要とする市民のためにストレッチャー対応タクシーの安定した運行を支援し、医療機関等への移送体制の確保を図ります。

対象者：鶴岡市内に事業所があり、ストレッチャー対応タクシーを運行する事業者

補助額：市内を発着地のいずれかとする補助対象タクシーの運行回数に1,000円を乗じた額（上限25,000円/月）と車両維持にかかる補助対象経費の額のうち、低い方の額

	元年度	2年度	3年度
件数	2	3	3

※平成31年4月から施行

⑥ 私的二次救急医療対策補助

救急医療体制の確保及び充実のため、病院経営に寄与し、救急医療を必要としている市民が、身近な地域で安心して医療を受けられる体制の維持を図ります。

対象者：鶴岡市内に所在する私的二次救急医療機関（鶴岡協立病院、産婦人科・小児科三井病院）

補助額：救急搬送により受け入れた傷病者の人数に13,000円を乗じた額（上限650,000円/年500人）と救急医療業務にかかる補助対象経費の額のうち、低い方の額

	3年度
受入人数	500

※令和3年4月から施行

(2) 地域医療の推進

(令和3年度予算額 10,813千円)

① 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方が必要な状態になっても、自宅等住み慣れた生活の場で自分らしい生活を続けられるために、地域における医療・介護の関係機関が効果的に連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供体制の推進を図ります。

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

在宅医療地域資源マップ等の情報整備を図り、関係機関へ共有します。

(イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討

地域の医療・介護に関する課題を抽出し、課題解決に向け関係機関と協働し対応策を講じます。

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

24時間対応の在宅医療提供体制や、庄内地域の入院調整ルールを活用、および庄内プロジェクトによる質の高い緩和ケア提供により、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を図ります。

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

Net4U や地域連携パス等の情報共有ツールの活用を推進し、医療・介護関係者の情報共有を支援します。

(オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取り組みを支援します。

(カ) 医療・介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者を対象とした医療と介護の多職種連携研修会を開催します。

元年度	2年度	3年度
研修会2回開催 延べ参加人数334人 第1回R.1年8月29日(木) テーマ:「認知症の方の支援」 ・講義とグループワーク 講師・ファシリテーター: 庄内病院 富樫 千代美 氏 [※] こころの医療センター 渡部 真紀 氏 [※] 第2回R.1年11月21日(木) テーマ:「認知症の方の支援パートII」 ・講義とグループワーク 講師・ファシリテーター: 庄内病院 富樫 千代美 氏 [※] 県立こころの医療センター 渡部 真紀 氏 [※] 湯田川病院 菅原 美智子 氏 [※] ※認知症看護認定看護師	【新型コロナの影響により 令和2年度は中止】	研修会2回開催 延べ参加人数79人 第1回R.3年6月16日(水) テーマ:「ウイズコロナの環境と訪問看護」 講師:訪問看護ステーションとるて 管理者 弐持 朝子 氏 第2回R.3年10月20日(水) テーマ:「重篤な病を持つ人との話し合いをどう進めるか〜実際にACP(人生会議)を進めるコミュニケーション〜」 講師:一般社団法人MY wells 地域ケア工房 代表 神谷 浩平 氏

(キ) 地域住民への普及啓発

在宅医療・介護に関する普及・啓発を図ります。

(ク) 在宅医療と介護連携に関する関係市町の連携

二次医療圏内にある病院間等との話し合いを行い、広域連携が必要な事項について検討します。

(3) 地域支え合いの推進

(令和4年度予算額 47,451千円)

① 生活支援体制整備事業

支え合いのある地域づくりを支援するため、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を1名（計11人）配置し、多様な主体による多様な取り組みのコーディネートを行い、地域の実情に合わせた互助の仕組みづくりを進め、高齢者等の生活支援・介護予防サービスの推進を図ります。また、高齢者や要支援者等を支える人材の育成を目的に「担い手養成研修会」を開催します。

(ア) 地域の支え合い活動の可視化（見える化）

地域の支え合い活動の可視化（見える化）を行い、地域の支え合い活動の推進を図ることを目的に、地域支え合い情報誌を発行し、地域住民組織・関係機関に広く配布し支え合いの地域づくりについて周知しました。

【地域支え合い情報誌の発行】

令和元年度 「つるおか通いの場 活動紹介～地域のつながり・支えあい～」(700部)

令和2年度 「和と輪 つるおか」(5000部)

令和3年度 「和と輪 つるおか」第2号(5000部)

(イ) 情報発信及び発表会（見せる化）

「通いの場」や「地域の支え合い活動」などを展開している団体の取り組み内容を紹介することにより、活動の継続意欲の向上や、新規の立ち上げへの機運を高めることを目的に開催します。

《令和3年度実績》

○鶴岡市地域支え合い活動研修会 ～住み続けたい そんな想いをかたちに～

実施日：令和4年1月17日（月）13:30～15:50

会場：メイン会場 鶴岡市総合保健福祉センターにこふる

リモート会場 鶴岡市第三学区コミュニティセンター、温海庁舎6階大会議室

内容：第1部 基調講演

「住み慣れた地域で幸せに暮らすために」

講師 東北公益文科大学大学院 教授 武田 真理子 氏

第2部 活動発表

地域の話し合いから生まれた支え合い活動「よろずや琢成」について

講師 酒田市琢成学区コミュニティ振興会 会長 田賀 幸二 氏

(発表協力：酒田市社会福祉協議会)

第3部 全体ディスカッション

参加者数：135人

(ウ) 担い手養成研修

対象者：一般市民

内容：担い手となるために必要な基礎的な知識や技術の講習、同行訪問

《令和3年度実績》

実施状況		修了者数
市開催 第1回	実施期間：令和3年6月15日(火)、6月16日(水)、7月27日(火) 通いの場見学：令和3年6月28日、29日、7月2日、5日、6日、9日、13日、14日、20日 会場：鶴岡市総合保健福祉センター にこ♡ふる	14人
市開催 第2回	実施期間：令和3年11月18日(木)、11月19日(金)、12月24日(金) 通いの場見学：令和3年12月10日、14日、17日 会場：鶴岡市総合保健福祉センター にこ♡ふる	8人
鶴岡市シルバー人材センター開催	実施期間：令和4年2月18日(金)、2月22日(火) 会場：鶴岡市シルバー人材センター *生活支援コースのみ実施	8人

(エ) 鶴岡市地域ケア推進会議

日常生活圏域レベルの地域ケア会議で明らかになった課題を整理し、解決していくために、保健・医療・福祉等の関係機関の代表者で構成する会議で、ニーズに対応したサービス資源の開発や、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークを強化し地域包括ケアの社会基盤整備につなげます。

《令和3年度実績》

実施状況	
第1回	日 時：令和3年9月27日(月) (出席委員 14名) 内 容：① 委員の所属団体における地域課題について ② 今年度のテーマの決定について
第2回	日 時：令和3年12月27日(月) (出席委員 13名) 内 容：① 安心カードの取組について(鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課) ② 安心カードの活用事例について(鶴岡市消防署 警備第2課) ③ 全市的な地域の見守り体制について ~安心カードのさらなる普及に向けて~
第3回	日 時：令和4年3月25日(金) (出席委員 11名) 内 容：① 今年度の振り返り(報告) ② 安心カードの普及に向けて取組んだことについて(報告) ③ 全市的な見守り体制の整備について ・安心カードの今後の取組に向けて ・次年度に向けた「全市的な見守り体制の整備」の取組について

(4) 新型コロナウイルス感染症対策事業

(令和4年度予算額 0千円)

① 医療従事者支援事業

○医療物資支援

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底を図るとともに地域医療の維持に繋げるため、感染のリスクを負いながらも日夜地域医療を支えている多くの医療従事者に対し、新たに創設した新型コロナウイルス感染症支援寄附金、及び医療従事者の応援を目的としたふるさと納税を活用し、医療物資の支援を行います。

《令和2年度実績》

贈 呈 品		贈 呈 先
N95 マスク	300 箱 (10 枚/箱)	・鶴岡地区医師会 ・鶴岡地区歯科医師会 ・鶴岡地区薬剤師会 ・鶴岡市立荘内病院 ・鶴岡協立病院 ・鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院
アイソレーションガウン	18 箱 (100 枚/箱)	
フェイスシールド	6 ケース(200 個/ケース)	
プラスチックグローブ	120 箱 (200 枚/箱)	
キャップ	40 箱 (100 枚/箱)	
マテリアルワゴン	4 台	
ステンレスハンディカート	3 台	

《令和3年度実績》

実績なし。

○ブルーライトアップ

イギリスを発祥とする医療従事者への感謝を示す色である青色でシンボリックな建物をライトアップする取組みで、地域医療の最前線で活躍されている医療従事者へ感謝と応援の気持ちを示すため実施します。

《令和2年度実績》

大宝館ブルーライトアップ：令和2年6月15日～7月12日

※その他、月山ダム(6/1～)、荘銀タクト(5/9～)でも実施されました。

《令和3年度実績》

実績なし。

② 新型コロナ出前講座

新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識等の普及・啓発を図るため、希望する団体に対し出前講座を実施します。

内容：①新型コロナウイルス感染症の基礎知識 ②新型コロナウイルスの予防対策
③差別や偏見等の防止

《令和2年度実績》

9 団体、参加延べ人数 190 人 (R2.9～R3.3)

《令和3年度実績》

3 団体、参加延べ人数 72 人 (R3.9～R4.1)

※他2団体は感染拡大により中止 (R3.4、R4.1)